

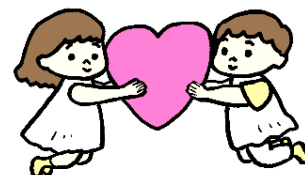
御田小 研究だより

令和3年9月29日
港区立御田小学校
校長 小林 功明

御田小学校では、今年度「自分も大切 みんなも大切 ～他者のよさや考えを認め、主体的に自分の考えを伝える児童の育成～」をテーマに校内研究を行っています。

低学年の目指す児童像

★自分のよさや友達のよさに気付き、進んで自分の考えを伝えようとする児童



第2回 研究授業報告

9月22日(水) 2年3組 授業者 熊野 歩
道徳科「とべないペンギンくん」

【授業のねらい】

○自分の得意なことに気付いたペンギン君の思いについて考えるを通して、自分の特徴に気付き、長所を大切にする道徳的心情を育む。

【授業の工夫】

ICTの活用

学習の導入で、パワーポイントを活用し、教材の内容である鳥の特徴についてのクイズを行うことで、授業のねらいへの方向付けを行いました。



関わり合いの場の設定

ペアの友達のよいところに目を向け、それを伝え合う場を設定しました。



学びの実感をもたせる工夫

自分のよさを今後どうしていきたいか、学習を振り返ってワークシートに自分の思いや考えを書くことで、学びの実感をもつようにしました。

一人一人のよさを引き出す工夫

友達のよさを書いて伝えるためのカードを活用しました。友達から自分のよいところを伝えることで、一人一人が自分のよさについて考え、気付くことができました。

〈授業を終えて〉

今回の授業では、「鳥なのに飛べない。でも、泳ぐことができる。」という特徴をもつペンギンが主人公の教材を通して、児童一人一人に自分自身の特徴やよさについて考えさせ、気付かせることができました。また、自分だけでなく友達のよさにも目を向け、認め合うことの大切さについて考えさせることができました。

今回の授業を生かして、今後も、児童が自分のよさを大切に、さらに伸ばしていこうとする心情を育てていきたいと思っています。